

# Economic Indicators

発表日: 2023年6月9日(金)

## 主要経済指標予定(2023年6月12日~6月16日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部  
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(6月12日~6月16日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
6月12日 (月)	8:50 5月企業物価指数 (前月比) (前年比)	▲0.3% +5.4%	▲0.2% +5.6%	▲0.4%~+0.1% +4.8%~+5.8%	+0.2% +5.8%
6月13日 (火)	8:50 4-6月期法人企業景気予測調査 景況判断BSI大企業製造業 全産業	— —	— —	— —	▲10.5 ▲3.0
6月14日 (水)					
6月15日 (木)	8:50 4月機械受注統計 船電除く民需(前月比) (前年比)	+2.0% ▲8.8%	+3.0% ▲8.4%	+1.2%~+7.3% ▲10.6%~+6.3%	▲3.9% ▲3.5%
	8:50 5月貿易統計 輸出金額(前年比) 輸入金額(前年比) 貿易収支(原数値、億円)	+2.0% ▲8.0% ▲14,516	▲1.2% ▲10.3% ▲13,000	▲4.8%~+8.6% ▲14.0%~+0.3% ▲10,520~▲17,700	+2.6% ▲2.3% ▲4,323
	8:50 5月商業動態統計・確報 小売業販売額(前年比)	—	—	—	+6.9%
	13:30 4月第3次産業活動指数 (前月比) (前年比)	+0.5% +1.4%	+0.4% —	▲3.8%~+2.1% —	▲1.7% +1.7%
	金融政策決定会合(~16日)				
6月16日 (金)	日銀総裁定例記者会見				

**5月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+5.4% 中央値：同+5.6%**

5月の国内企業物価を前年比+5.4%、前月比▲0.3%と予想する。5月以降の再生エネルギー賦課金の減額による下押しもあり電気・ガス・水道の鈍化が続き、前年比の伸び幅は縮小が続くだろう。もともと、食料品や機械類などエネルギー以外の分野では根強い価格転嫁が続いていることで、高止まりに注意が必要。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

**4月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比+2.0% 中央値：同+3.0%**

4月の機械受注（船舶電力除く民需）を、前月比+2.0%と予想する。海外経済の減速による下押しが続く製造業が弱含む一方で、非製造業の増加傾向が続くことで、機械受注は3か月ぶりの前月比増加となるだろう。先行きについては、サービス業を中心とした国内景気の持ち直しで非製造業は増加傾向が続くとみられるものの、海外経済の減速による下押しで製造業は停滞感の強い状況が続き、年度前半は緩慢な増加ペースに留まるだろう。

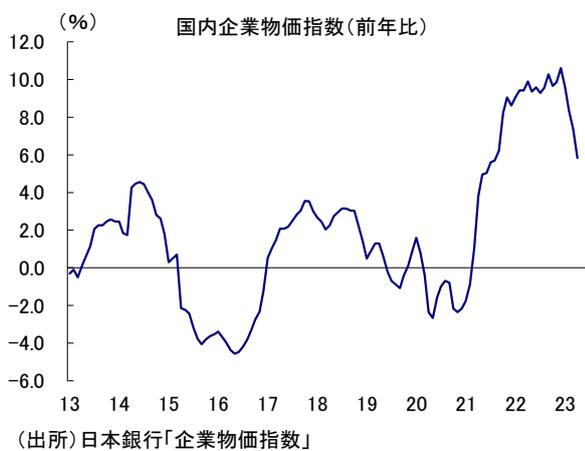
(副主任エコノミスト：大柴 千智)

**5月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲14,516億円 中央値：▲13,000億円**

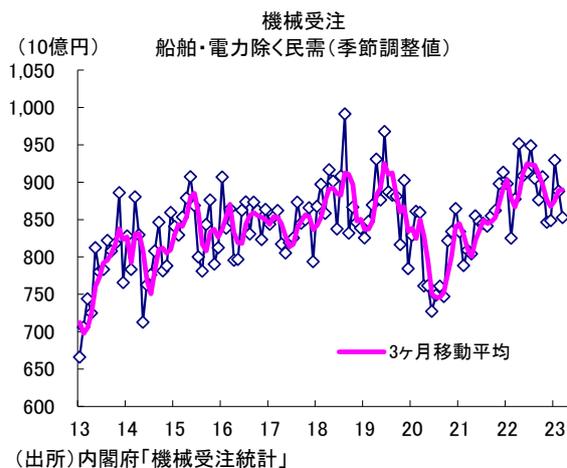
5月の貿易収支を▲8,830億の赤字（季節調整値）と予想する。部品等供給不足の緩和による自動車生産の持ち直しが支えとなるが、全体としては弱い動きが続くとみる。先行きについても、海外経済の減速による下押しで目先の実質輸出は減少傾向が強める可能性が高い。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

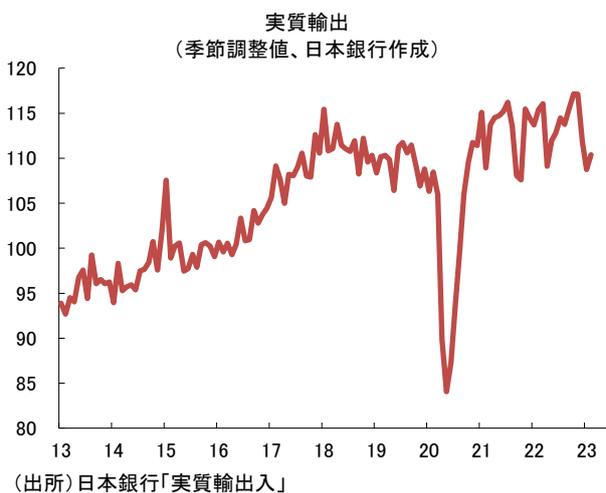
図表1



図表2



図表3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。